

高速増殖原型炉もんじゅ 性能試験(炉心確認試験)
 実施状況

13:00現在

概要
 制御棒が核分裂反応を抑制する効果を測定する制御棒価値確認試験を、計画通り安全に実施している。

プラント状態	異常なし。 1次主冷却系流量 約49% 1次主冷却系温度 約200℃ 2次主冷却系流量 約7%(ポニーモータ運転) 2次主冷却系温度 約200℃	備考
性能試験実施状況	<p>【昨日(5/6)の実績】 09:47 原子炉モードスイッチ「停止」→「起動」切替 10:36 制御棒引抜開始(性能試験再開) (5/7)03:48 5月6日実施予定試験終了</p> <p>【本日の実施状況】 制御棒価値確認実施中 10:45 制御棒価値確認開始 13:05 制御棒価値確認終了</p> <p>17時頃 圧力損失変化評価(1次主冷却系に冷却材を循環させるために必要な圧力差の経時変化評価)ためのデータを採取予定(1時間程度、現場作業なし)</p> <p>【明日の予定】 制御棒価値確認を実施し、原子炉を臨界とする予定。 燃焼係数評価(プルトニウム241がアメリカシウム241に自然崩壊する影響の評価)を実施予定。</p>	備考
その他	破損燃料検出設備におけるカバーガス法破損燃料検出装置の不具合	備考



炉心確認試験工程

		6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	
性能試験工程	プラント操作を伴う試験	①制御棒価値確認										
	プラント操作を伴わない試験				②中性子計装特性確認							
					③核出力校正確認							
							⑪空間線量当量率確認					
			⑦圧力損失変化評価									
				⑧燃焼係数評価								

(別添)

破損燃料検出設備におけるカバーガス法破損燃料検出装置の不具合

1. 推定原因

3台ある検出装置(プレシピテータ)のうち、警報の検出装置(プレシピテータ B、C 号機)には異常がみられないこと、警報は A 号機の計測中に発生しており、警報が発生してから警報が直ちに消えることから、A 号機の電気回路のノイズにより発生しているものと考えています。

2. 対 策

発生した検出装置(プレシピテータ A 号機)はバイパスし、残りの2台の検出装置(プレシピテータ B、C 号機)の交互運転を行っています。これにより、破損燃料検出機能は確保されています。

次の原子炉の予定停止期間(5月16日～5月20日)に点検し、原因究明を行います。

3. その他

本不具合による警報は、5月6日の23時09分頃に、また、5月7日の10時1分頃、10時45分頃、11時09分頃、11時31分頃、11時54分頃に発生しています。

以 上